

議会だより やまもと

Vol. 188
令和2年5月1日発行



最後となる坂元中学校入学式
(4月9日、入学生17名)

第1回臨時会

会期 1月22日

第1回定例会

会期 2月28日

～ 3月18日

- 定例会…………… P2～9
当初予算、総括質疑
議案審議内容・結果
- 一般質問…………… P10～17
議員 8名
- 委員会報告…………… P18
閉会中の調査結果
- 会議等出欠状況…………… P19

間の最終年度予算可決

笑顔あふれるまちを目指して～

定例会概要

第1回定例会は、2月28日から3月18日まで20日間の日程で開催され、新型コロナウイルス感染症防止のため、傍聴を中止した中、町長提出議案35件（報告6件、承認1件、条例9件、補正6件、副町長の選任を含む人事案件2件、その他11件）を審議し原案通り可決しました。

一般質問では、地域の活性化と今後の町づくりなどの町政全般にわたり、8人の議員が町長にたずねました。

予算概要

当初予算は、歳入歳出約114億円となり、歳入財源は一般財源、約43億円、特定財源約47億円、震災復興特別交付税約14億円を見込んでも、約10億円財源が不足するため、臨時財政対策債で約1億円を調達し、残り9億円は財政調整基金を取り崩すことで収支を図りました。

（特定財源とは、国県支出金、災害復興交付金基金等の繰り入れ金、地方債等）

令和2年度当初予算 各会計一覧表

各種会計予算	総額	前年度比較
一般会計	113億8,831万円	1,416万円
国民健康保険事業特別会計	17億7,324万円	-4,945万円
後期高齢者医療特別会計	1億7,808万円	1,018万円
介護保険事業特別会計	15億2,269万円	8,221万円
巨理地域介護認定審査会特別会計	742万円	3万円
水道事業会計	5億8,484万円	-2,596万円
下水道事業会計	11億3,418万円	2,918万円

見る
算

住宅維持管理事業(合戦原住宅改修)



1,667万円

指定廃棄物集約保管事業

保管予定地：町有地
(面積 5,108 m²)



1,962万円

入園祝金事業
200万円
備事業
182千円
準備事業
668万円



町民グラウンド整備事業 2億6,047万円

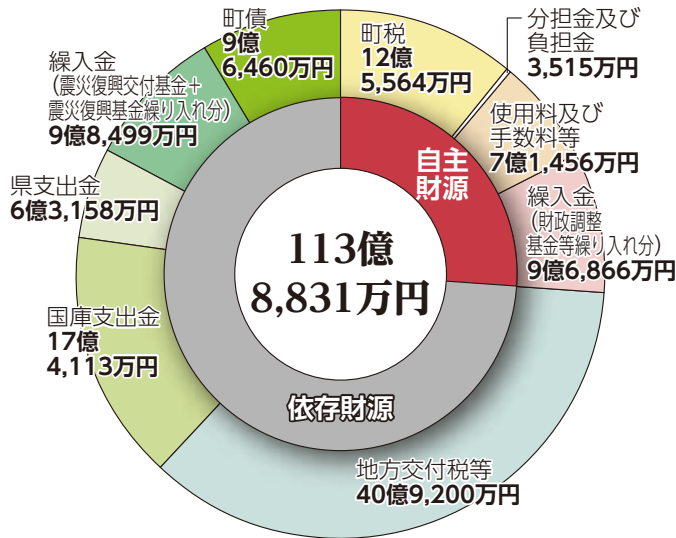
町民体育館長寿命化改修事業 (実施設計) 1,485万円

一般会計予算 復興・創生期

～ キラリやまもと みんなでつくる

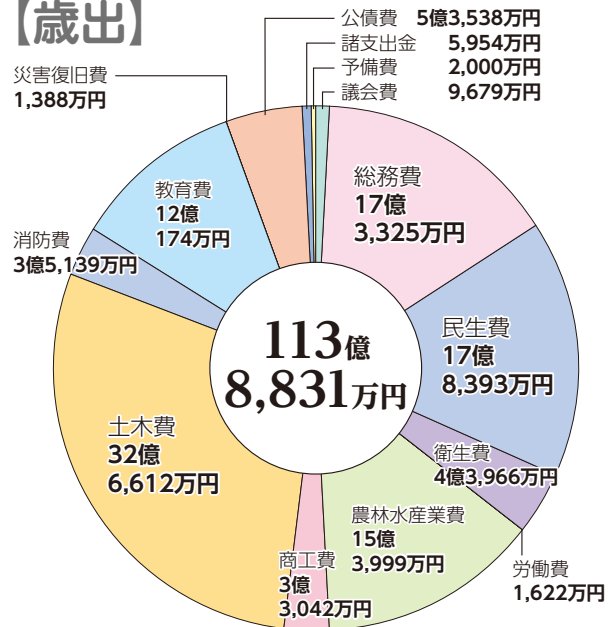
一般会計予算内訳

【歳入】



【自主財源】 29億7,401万円 町が自主的に確保することができる財源
 【依存財源】 84億1,430万円 国や県から交付される財源

【歳出】



送迎保育ステーション事業



農水産物直売所飲食施設建設事業



旧中浜小学校震災遺構保存整備・管理運営事業



高瀬川排水対策事業



目で予

町内私立幼稚園
 学校ICT環境整
 9,
 山元中学校開校
 3,

議員はここに注目した

総括質疑

岩佐 孝子議員

総括質疑

遠藤 達之議員

本当に必要なのは保育所である

学童保育業務委託…議会への説明は

町長 保護者の送迎負担軽減を図る

町長 理解を得るためには説明不足

議員 坂元のふるさとおもだか館への保育送迎ステーション設置の経緯は。

議員 だき設置したい。昼間の時間帯は開放し共有できるように検討していきたい。

議員 放課後児童クラブ運営業務の包括業務委託での対応に問題はないか。

議員 委員会等の機会を活用し、十分に理解を得るべきであった。
議員 この事業を業務委託での対応とした根拠は。

課長 保護者が送迎する際に通勤、送迎時間を考え適切な場所である。

議員 保育の実施や運営方法は。

町長 特段問題は生じない。

議員 子ども、親、現場が望む保育環境、働く環境が求められている町の大事な事業である。どの様な検討を経て結論に至ったか。

議員 施設利用者への説明、理解は。町民の声を吸い上げているのか。

課長 保育士2人から3人で対応する。
議員 車両送迎時の安全確保については。

議員 子ども、親、現場が望む保育環境、働く環境が求められている町の大事な事業である。どの様な検討を経て結論に至ったか。

課長 包括業務に含め発注している事例を確認している。
議員 県内での事例はあるか。

町長 担当課長が利用者調整会議で説明をした。町民から質問も無く、理解していただいたものと判断した。

課長 先進地においても、全ての座席にチャイルドシートは設置していない。当町では1歳、2歳児は、チャイルドシート設置スペースを確保していきたい。

町長 他の自治体等の取り組みも参考にし、必要な判断をした。

課長 手持ち資料等は持ち合わせていない。
議員 根拠が示せない、この程度の検討で、十分な説明もなく議会のチェックを経ることもなく実施に至る、という進め方は認めるところではない。

議員 おもだか館は、防災拠点センターであり、一部屋利用できないのは問題ではないか。

議員 子どものことを考えると本当に必要なのは、保育所であり、送迎ステーションではない。

議員 重要な取り組みを、どの程度の説明で議会に提案したか。

課長 理解を得るための説明が不足しており、本来であれば常任

課長 利用団体、地域の方々を理解していた

議員 子どものことを考えると本当に必要なのは、保育所であり、送迎ステーションではない。

課長 理解を得るための説明が不足しており、本来であれば常任

予算審査特別委員会委員長報告

予算審査特別委員会（委員長 伊藤 貞悦）を設置し、6日間にわたる審議を経て、次の意見を付け「可決すべきもの」としました。

また、一般会計予算については少数意見報告書【p5掲載】が提出されました。

特に留意すべき意見 〈議案第21号 一般会計予算について〉

- ・一般会計予算書については、複数の目で確認し正確で訂正のない議案を提出すべきである。
- ・債務負担行為の設定については、将来の負担を担保することとなるため、中長期的な視野から財政を圧迫するようなことがない計画的な予算編成に努めるべきである。
- ・重要案件については核心部分まで説明責任を果たし共通理解を求め提案すべきである。また、同様意見を指摘されないよう努めるべきである。



の主な質疑 特別委員会

○行政事務包括業務委託

- Q.. 導入までの経緯は。
 A.. 平成17年度以降臨時職員が増加している。会計年度任用職員制度と包括業務委託で対応せざるを得なかった。
 Q.. 行政事務包括業務委託の内容は。
 A.. 人数は、施設管理を中心とした52人。職種は、11業種である。
 Q.. 児童クラブ運営が業務委託になった理由は。
 A.. 他市町村の先進地事例を参考にしながら検討した。
 Q.. 県内での実施状況は。
 A.. 事例は少ないが、確認はしている。
 Q.. 利用者や働く方々の不安を払拭し、子育てしやすい環境整備をすべきであるが、意見は聞いたのか。
 A.. 対応はしている。
 Q.. 業務委託は、コスト削減が目的では。
 A.. 諸経費がプラスされ、臨時職員賃金の時より増加した。



○地方交付税

- Q.. 震災復興特別交付税は、今年度で終了か。
 A.. 事業執行中は交付税措置される見込みである。
 Q.. 人口減少による激変緩和はいつまでか。
 A.. 27年度の国勢調査に基づく激変緩和は2年度までである。

○債務負担行為

- Q.. 件数、金額が多くなると財政が硬直化してしまうのではないか。
 A.. 複数年契約により、経費削減につなげていくためである。
 Q.. 案件内容を議会へ、どの程度説明しているのか。
 A.. 法定範囲内であり、基本的にはその中の対応である。

○スポーツ関連施設計画

- Q.. 町民グラウンド、体育館改修は全体構想、将来構想の中での計画なのか。
 A.. 年次計画による。
 Q.. スポーツ関連施設を現在地に集約する方向でよいのか。
 A.. 現段階では、現在のものを利用すべきと考えている。
 Q.. 今後のスポーツ関連施設計画は。
 A.. この施設以外は、また別である。



○少数意見報告書

議会の指摘をいかした予算編成を求める

当初予算審査で、何度となく指摘し提出してきた「附帯意見」は拘束力が無いことと受け止められていると推測される。議会からの指摘事項に対し、真摯に受け止めた予算編成とはなっておらず、十分な説明、議論のないままの提案である。

特に、児童クラブ支援員や図書司書補などの行政事務包括業務委託は、住民サービスに直結する。今までの行政事務の大きな方向転換された計画変更にも関わらず十分な説明もされないまま進められようとしている状況である。このことから、令和2年度山元町一般会計予算を認めることができないため、少数意見報告書を提出する。

予算審査特別委員会

提案者 岩佐孝子 賛成者 阿部 均

※少数意見とは…少数のため、取り上げられない意見
 (委員会において、1人以上の賛成を得た場合に、その意見を報告することができる。)

反対

岩佐 孝子 議員

次の点から原案に反対する。

- ①経費削減のため導入予定の行政事務包括業務委託は、保護者や支援員への説明は不十分であり、保護者の不安が解消されていない。
 - ②保育所の一時預かり室は、通常保育で利用しており、一時預かりのための保育室を確保できず、こどもセンターで行なっている。
 - ③つばめの杜保育所には入所できず、他施設に依頼している状況である。
- 重要な案件にも関わらず、議会の意見を無視し不十分な説明、議会との議論、検討のない提案である。住民の生活を優先した予算編成が必要である。

賛成

岩佐 秀一 議員

町民生活の混乱は避けるべきである。

予算は、国が定めた「復興・創生期間」の最終年度に当たることから、復興・創生の完遂を目指すと共に、「第6次山元町総合計画」に掲げる未来像の達成に向け、「5つの基本方針」に基づく各事業を最優先事項とする。災害復旧関連予算、過疎対策事業を始め、各種基金などを活用し将来にわたる財政健全化の確保を配慮した予算編成である。また、予算審査特別委員会において、十分な審議・調査を尽くし、可決すべきものとした議案であり、原案に賛成するものである。

一般会計予算に対する討論

反対

遠藤 龍之 議員

反対の理由については、債務負担行為による予算を提案する際、重要な案件であるにも関わらず、議会への説明が不十分であること。

包括業務委託への移行は、経費削減であるにも関わらず、学童保育、児童館運営業務等、逆にコスト高で、目的を果たしていないこと。

毎回、当初予算に附帯意見があげられるような予算措置をしていることなど、議会総意の意見に対し真摯な対応が見られないこと。

議案提案の際の説明不足等、議会軽視での町政に問題がある。

賛成

竹内 和彦 議員

3月6日から予算審査特別委員会において慎重な審査を行っている。審査結果は可決すべきものとしている。今、日本を含む世界は新型コロナウイルスにより、深刻な影響が出ており、我が町においても例外ではない。このような状況の中で新年度予算成立の停滞は許されない。この予算を遅滞なく成立し執行することが我々の責務であることから、令和2年度一般会計予算に賛成するものである。



議案第21号 一般会計予算 起立採決

氏名	伊藤 貞悦	橋元 伸一	岩佐 秀一	大和 晴美	渡邊 千恵美	高橋 眞理子	竹内 和彦	遠藤 龍之	岩佐 孝子	阿部 均	菊地 康彦	高橋 建夫	岩佐 哲也
採決結果	○	●	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	-

○ 賛成 ● 反対 — 議長

補正予算

主な事業

- 稲わら等管理・処分事業 1億8174万円
- ふるさと納税に係る事業 1127万円
- 防災集団移転促進事業 8762万円

令和元年度 各種会計補正予算一覧表 (単位千円)

会計名	補正額(3月)	合計額
一般会計	52,678	12,461,848
国民健康保険事業特別会計	1	1,825,450
後期高齢者医療特別会計	2,285	172,134
介護保険事業特別会計	4	149,528
水道事業会計	22,675	624,406
下水道事業会計	△ 2,271	1,126,257

※補正のあった会計を掲載

教育委員会委員

大内悦夫氏 (69歳)

(仙台市太白区) を同意

副町長



菅野寛俊氏 (58歳)

(山下区・前総務課長) を同意

主な質疑

○災害稲わら処分等業務委託料

議員 稲わらの集積量は。 課長 1500トンほどを想定している。

議員 処分方法は。 課長 250トンは焼却、残りは県外のコンクリート工場での処分を想定している。

議員 東部地区の地方回復のため、町で堆肥化を検討してはどうか。

町長 今回は国の災害復旧費での事業であるため、堆肥化は該当しない。

○繰越明許費

議員 繰越明許が多すぎないか。 町長 震災前に比べる

と予算規模も大きい。

○臨時保育士等賃金

議員 2千万円の大幅な減額の要因は。 課長 臨時保育士等を確保できなかったため

である。 議員 保育に支障はなかったか。

課長 クラス担任をしていない主任や保育士が補ってきた。

議員 待遇改善の努力をすべきである。

○震災復興基金

議員 「43億円基金」と「8億円基金」の残はいくらか。 課長 1億5448万円と4千万円程度ある。

議員 それぞれの基金の使途は。 町長 前者は国へ返納する。

課長 後者は追悼式や震災遺構のモニユメント整備費に充当する。

台風の影響もあるが、予定通り進めるよう努力している。

令和2年 第1回臨時会

1月22日(水)に臨時会が開催され、報告1件、議案1件を審議しました。

○令和2年 第1回臨時会 議案等の審議結果

議案番号	事件名	議決の結果
報告第1号	専決処分の報告について(物品購入契約金額の変更)	報告
議案第1号	一般国道と町道(仮称)新浜諏訪原線との交差接続工事に関する令和元年度契約の締結について	可決 (賛成10、反対2)



議案第1号 起立採決 ※賛成:起立 反対:着席

新規条例

○山元町東日本大震災遺構条例（議案第2号）
東日本大震災遺構中浜小学校を設置するため、設置目的・名称等を条例とし制定するもの。

制定内容

- ・施設の設置目的
 - ・名称及び位置
 - ・施設使用、開館、休館など
- ※産建教育常任委員会に付託され、委員会において、調査協議を経て「可決すべきもの」として報告

令和2年度 議会費 (単位：千円)

区分	今年度	前年度比較	主な内訳
報酬	39,996	0	議員報酬
給料	8,378	△ 3,199	職員給料
職員手当等	18,004	△ 1,290	議員・職員手当
共済費	17,139	△ 1,452	議員・職員共済
報償費	0	△ 50	
旅費	3,161	116	普通旅費・費用弁償 視察研修旅費
交際費	500	△ 157	議長交際費
需用費	1,825	△ 957	消耗品費、議会だより 印刷代、燃料費
役務費	3,068	285	会議録反訳料、郵便料ほか
委託料	2,739	△ 125	議会中継インターネット 映像配信業務委託料
使用料及び賃借料	662	△ 2	公用車借り上げ料ほか
備品購入費	99	99	広報用カメラ購入費
負担金・補助金及び交付金	1,220	0	県議長会負担金ほか
合計	96,791	△ 6,732	

条例一部改正

○山元町国民健康保険税（議案第8号）
東日本大震災による調整交付金等の財政支援措置が今後見込めないことから、県納付金の財源を満たす国民健康保険税率に改ためるため改正するもの。

その他の議案

○JR常磐線側道用地の取得（議案第13号）

取得面積
16,797.47㎡
契約価格
49,320,002円
契約相手
東日本旅客鉄道(株)



〈改正内容〉

区分	改正前	改正後
所得割	7.1%	9.1%
被保険者均等割	36,800円	45,000円
世帯平等割	25,300円	32,800円

※適用は令和2年度以降

○陳情の受理

陳情番号	件名	陳情者等	結果
陳情第1号	学校給食の公費負担（無償化や一部負担）と給食の改善を求める要請書	国民の食糧・農業、健康を守る 宮城県連絡会 代表世話人 鈴木 新	配布のみ
陳情第2号	2021年度介護保険法改定に向け介護保険制度の抜本改善を求める国への意見書提出を求める陳情書	NPO法人 介護・福祉サービス 非営利団体ネットワークみやぎ 理事長 内館 昭子 ほか6名	



○令和2年 第1回定例会 議案等の審議結果

議案番号	事 件 名	結 果
報告第 2号	専決処分の報告について（工事請負契約金額の変更）※坂元合同庁舎解体工事	報 告
報告第 3号	専決処分の報告について（工事請負契約金額の変更）※谷地排水機場除塵機設置工事	
報告第 4号	専決処分の報告について（工事請負契約金額の変更）※山下地区がけ崩れ対策工事	
報告第 5号	専決処分の報告について（工事請負契約金額の変更）※頭無西牛橋線道路改良工事	
報告第 6号	専決処分の報告について（工事請負契約金額の変更）※旧中浜小震災遺構保存整備工事	
報告第 7号	専決処分の報告について（工事請負契約金額の変更）※旧中浜小メモリアル広場整備工事	
承認第 1号	専決処分の承認を求めることについて（令和元年度山元町一般会計補正予算・専決第3号）※台風19号被災農業者補助等	
議案第 2号	山元町東日本大震災遺構条例 ※新規条例 【P8掲載】	可 決 (全員賛成)
議案第 3号	山元町地域包括支援センター条例を廃止する条例	
議案第 4号	職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例	
議案第 5号	山元町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	
議案第 6号	地方自治法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	
議案第 7号	情報通信技術の活用による行政手続に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るための行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	
議案第 8号	山元町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 【P8に掲載】	
議案第 9号	道路法施行令の一部を改正する政令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	
議案第10号	山元町町営住宅条例の一部を改正する条例	
議案第11号	平成29年度（繰）社総交（復興）請3号 高瀬笠野線道路改良工事請負契約の変更について	
議案第12号	岩沼市外一市三町水道水質検査協議会を組織する地方公共団体の数の増加及び岩沼市外一市三町水道水質検査協議会規約の変更について	
議案第13号	土地の取得について ※JR常磐線側道用地 【P8に掲載】	
議案第14号	権利の放棄について（町営住宅家賃債権）	
議案第15号	令和元年度山元町一般会計補正予算（第4号） 【P7に掲載】	
議案第16号	令和元年度山元町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	
議案第17号	令和元年度山元町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	
議案第18号	令和元年度山元町介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	
議案第19号	令和元年度山元町水道事業会計補正予算（第3号）	
議案第20号	令和元年度山元町下水道事業会計補正予算（第3号）	
議案第21号	令和2年度山元町一般会計予算 【P6に掲載】	
議案第22号	令和2年度山元町国民健康保険事業特別会計予算	可 決 (全員賛成)
議案第23号	令和2年度山元町後期高齢者医療特別会計予算	
議案第24号	令和2年度山元町介護保険事業特別会計予算	
議案第25号	令和2年度巨理地域介護認定審査会特別会計予算	
議案第26号	令和2年度山元町水道事業会計予算	
議案第27号	令和2年度山元町下水道事業会計予算	
同意第 1号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて 【P7に掲載】	
同意第 2号	副町長の選任につき同意を求めることについて 【P7に掲載】	同 意 (賛成8 反対4)

丘通りの環境改善は

町長 地域ぐるみで災害に強い町に



議員 岩佐 秀一

議員 大雨時、調整池の役割を果たす「ため池」の管理状況は。
町長 日常的な管理は、各行政区に「ため池管理者」を選任し、草刈りや水管理等を行なっている。
議員 管理者の作業状況をチェックしているのか。
町長 必要な情報を共有し適切な管理に努めている。

町長 受益者や利用者数を勘案したうえで、計画的に舗装工事を行っている。
議員 未舗装のため大雨時に表土が流され、砂利が耕作地や排水路を埋め二次災害を誘発している。利用者のことも考え簡易舗装等の考えはないか。
町長 大雨等により周辺への影響を勘案し、未舗装区間の整備に努めていきたい。
議員 山間地の河川管理状況は。
町長 通常は浚渫と河川パトロールを中心に実施している。
議員 最近の大雨により、中小河川が一部崩壊しており、修繕や補強を行うべきでは。
町長 豪雨災害を踏まえ重要な問題である。今後、計画的な浚渫や河川パトロールを行いながら、常に現場を確認し、適正な維持管理に努めていく。

耕作放棄地の改善は

町長 農振農用地区域指定の見直しも

議員 山元南スマートインターチェンジ周辺の農振地域の見直しによる土地の有効利用を図る考えはないか。
町長 同地域は、インターチェンジ出入口道路により農振農用地が東西に分断されたため、農地としての有効な活用が望めない状況にあるほか、西側の山手を中心に未耕作農地が多く存在している。また国道6号や県道角田山元線に直結している、交通便利性に恵まれた同インターチェンジの周辺環境を踏まえ、実態に即した土地の有効活用が図られるよう、区域見直しの検討も併せて行う。
議員 農振地域の早急な見直しにより、土地の有効活用を期待する。



山元南スマートインターチェンジ周辺

その他の質問
 産直施設周辺の交通渋滞対策について
 ○駐車を増設する考えはないか。
 ○今整備している非農用地を活用する考えはないか。

災害備蓄品に液体ミルクの追加を

町長 必要数等を確認し検討する

議員 東日本大震災の時、当町への粉ミルク及び乳児用液体ミルクの支援物資はあったか。

課長 粉ミルクは3月18日以降に法人、個人より支援があった。液体ミルクは5月1日にヨーロッパ牛乳という名称のものをいただいたが、液体ミルクの情報を持ち合わせていなかったため、大人のための調理ミルクとして使わせていただいた。

議員 国産の液体ミルクの製造、販売が解禁された今、災害備蓄品に追加してはどうか。

町長 水や電気の供給停止が予想される大規模災害への備えとして、有効な面もあるので、普及状況や保存期限、必要数等について確認を行い検討していく。

議員 2月13日に当町と災害協定を結んだ愛知県半田市でも昨年12月に液体ミルクの備蓄を始めた。当町でも備蓄を行ってはどうか。

町長 協定締結の自治体と相互に備蓄品の内容を確認し、お互いに足りない品を補い合うような工夫をしようえ、液体ミルクの対応も検討したい。

議員 液体ミルクの周知を図ってはどうか。

町長 有効性や安全性について、乳児検診等の機会を捉えて周知を図り、各家庭で備蓄するよう啓発に努める。



やまとはるみ 大和晴美 議員



缶入りと紙パックの液体ミルク

多胎妊産婦への負担軽減を

町長 適時適切な支援体制を構築したい

議員 多胎妊産婦のための支援は行われているか。

町長 14回の産婦健診、さらに町独自で6回分追加している。

議員 平成30年に愛知県豊田市で三つ子の次男が亡くなった事件では、同市と医療機関の連携不足などが問題視された。このことについてどう考えるか。

町長 常日頃から関係機関との連携、情報の共有を図ることが肝要だと考える。

議員 国の産前・産後サポート事業を活用して、多胎妊産婦への負担の軽減を図ってはどうか。

町長 元年度から産婦健診と産後デイサービス事業に取り組んでおり、個人負担については多胎児であっても一人分の負担額としている。

議員 厚生労働省は令和2年度予算に多胎妊

産婦への支援を初めて計上した。育児サポートを派遣する事業をはじめ、多胎児育児経験者らが妊娠期から母親を訪問し、相談に乗る事業もあるが。

町長 この5年間で該当するご家庭が2世帯あり、一定の支援対応はできている。適時適切な支援体制を構築できるように努める。



震災で得た「教訓・伝承」の発信は

町長 教訓伝承や防災意識の醸成に努める



たかはし まりこ 議員
高橋 眞理子

議員 大震災から9年。震災で得た教訓・伝承を発信することについて、取り組みは。

町長 震災の記憶を風化させることなく伝承していくことが肝要である。津波避難文化の定着を目指した総合防災訓練を継続実施していることに加え、防災拠点・山下地域交流センター内の防災情報コーナー展示を活用し、教訓の伝承や防災意識の醸成に努めている。

議員 10年を節目に、総括検証を行う考えは。

町長 震災の検証は職員へのヒアリングや町

民へのアンケートを実施し、平成25年6月に報告書としてまとめている。

議員 今後、災害対応未経験職員との共有認識を図るうえで、職員に特化した検証は。

町長 必要な形での報告書や組織として得た辛い苦い経験を次にいかせるような伝承・継承を日々意識しながら対応していく。

議員 当時在職の小・中学校教員も年々少なくなっている。教員、児童生徒への教訓・伝承についての対応は。

教育長 今年1月に策定した「みのりプロジェクト推進事業」においても防災教育の推進を目標に、取り組み計画である。転入教職員には町内の視察研修、教職員研修大会での大震災に関する防災講演会の開催等により、教員への教訓・伝承を行っている。児童

生徒には防災教育の一環として、授業の中で町の被災状況等が学習できるよう年間計画に取り込んでいる。

議員 今年7月に開設される震災遺構中浜小学校の今後の活用については。

教育長 地域の防災教育活動に重点を置きつつ、修学旅行や企業等の防災研修の対象に役立てていただき、県内沿岸部の震災伝承施設等とも連携を図りながら津波の脅威を被災地全体から発信し、津波避難文化を定着させるための取り組みに活用していく。また、地域の活性化にも貢献する施設となるよう町内の観光資源等との連携を図っていく。

議員 「やまもと夢いちごの郷」から山元版※ホープツーリズム、散策コースとして案内板等を設置して誘客を図っては。

町長 町内のさまざまな観光資源を、点を線で結ぶ取り組みを加速していく。

※ホープツーリズムとは
復興に向かう「一人」との出会いや地域の状況を見て、学んで、希望を感じてもらおうツアーのこと。



開館を待つ震災遺構中浜小学校

提言書を重く受け止め対応を

町長 総合計画と整合性を図り対応する

議員 坂元地区の公共施設跡地等の有効活用、保育所建設、パークゴルフ場建設について、坂元地区行政連絡調整会議から提言書が提出されたがどのように受け止め、施策に反映する考えか。

町長 今後の坂元地区のまちづくりの焦点を絞った施策提言であり、新たな視点が盛り込まれており、示唆に富んだ内容も含まれたものと受け止めた。町政運営に対し、常日頃

多くの方々から、要望や意見があり、今回の提言を含め、議論を重ねたうえで施策に反映したい。

議員 災害時の防災拠点への安全な避難経路の確保は、早急に対応する喫緊の課題ではないのか。

町長 既存の排水路の整備、県河川の改修、市街地に入る排水系統の適切な維持管理等を通じて、対応に努めた。

管課長に指示はしたのか。

町長 取り扱いについては、その内容を踏まえたうえで施策に反映できるか適宜判断している。課長会議等には諮っていないが、必要に応じて担当課長等と調整を図り、情報共有を行っている。

議員 提言された意見を施策に生かす考えはあるか。

町長 提言を含め、多方面からいただく様々な意見等を踏まえ、町の状況や財政運営の課題等も考慮し、優先順位を整理のうえ適切な政策判断をしたい。

議員 今回の提言は、坂元地区の正副区長、選出議員が協議し異論なく合意し提出したものであり、重く受け止

め対応、対応すべき内容のものと考えるが。

町長 今後の本町全体の将来像と第6次総合計画との整合性を図り、持続可能な町づくりの推進に生かしたい。



内水対策が待たれる坂元市街地



あべ 均 議員

資源を生かした観光人口拡大を

町長 隣接市町と連携を図り推進する



議員 岩佐 孝子

議員 直売所周辺は、道路も狭く車両交差がしにくい。特に南側の河川、道路整備の計画はあるのか。

町長 道路は、新市街地整備の際に、国道6号の右折レーンを整備している。

排水は、谷地川などの対策を実施しているが、恒久的な施設整備は早期事業化が困難である。既存の用水路、防災調整池を活用し応急仮設ポンプで坂元川へ強制排水し直接放流する等の対策を図っている。

議員 支所から坂元中までの道路拡幅計画は。

課長 一部、ガード下は狭いが、概ね幅員6m確保している。新たな計画はない。

議員 旧中浜小が震災遺構として整備されたら、大型車の交通量が増加する。交通事故防止のためにも拡幅計画を。

町長 拡幅計画はない。既存の道路体系の中で極力円滑な動線確保と案内誘導をする。

議員 坂元駅から徒歩10〜20分圏域に2・7鈔程の遊休農地がある。この農地を活用しイチゴ狩り等の体験施設を考えては。

町長 必要性は感じ、体制整備を模索している。実現に向け努力する。

議員 来町者、特に外国人向けのガイドマップを作成すべきでは。

課長 名取市・岩沼市・亘理町・山元町の2市2町で連携した事業を展開していく。

議員 仙台空港から近い立地条件をいかし、早急に町内案内人の育成をすべきでは。

町長 人材育成、観光ガイド、案内等について工夫していきたい。

議員 他市町との連携を密にし、チャンスをつかまない観光・交流人口拡大に前向きに取り組むべきである。



「あるもの探し、あるものいかし」で次代へ

保育所は計画どおり建設すべき

町長 現時点では整備しない

議員 令和2年度までの過疎地域自立促進計画での保育所建設は。

町長 計画は、諸々のタイミングで捉え修正もある。

課長 児童福祉施設として計画はある。

議員 計画は残っている。住民の請願、議会の委員会決議もある。町民の理解、納得は得ているのか。

町長 委員会、全員協議会で説明をしている。

議員 説明だけで議論はされていない。坂元地区行政連絡調整会議からの「坂元振興策提言書」の受け止めは。

副町長 地域の声と重く受け止め、課長会には諮っていないが、関係部署と情報共有をしている。

議員 存続・持続可能な町となるかという重大な提言書。保育所建設は必ずすべきである。

保育所を再建しない理由は

町長 建設の可能性を見極め結論を出した

議員 これまで、建設する方向で調査等を進めてきたと思っていたが「現時点で保育所は設置しない」と報告があった。これまでの一連の協議の結論と捉えていいのか。

町長 ①今後10年間の子どもの数の推計②多様な保育ニーズの対応状況③保育無償化に関しての動向、これらの観点から当分の間、建設できる環境状況にないということである。

議員 区切りと捉えてよいか。

町長 一つの区切りということはある。

議員 3つの理由を挙げているが、建設費などの財政的なことは解決したと考えてよいか。

町長 維持管理の問題もあるのですが、子どもの数が減っている中で、そこまですべきなのか財政的な問題も当然含まれている。

議員 坂元地区において、定住促進のための

支援を拡充しているが、子育てのための施設の無い所に、子育て世代の定住は見込めないのでは。

町長 坂元地区の保育所の在り方については、一方的に結論を出したのではなく、住民のいろいろなニーズを集約、確認しながら対応し、意見をまとめ子育て支援パッケージを含め提案した。

議員 1年後に中学校が再編され、10年後に小学校も再編され、保育所も再建しないとなれば、子育てのための施設が何もなくなくなってしまいが、子育て世代を呼び込むための施策は考えているか。

町長 町有地を活用した定住のための宅地化を模索している。保育

所については、町の現状から考えると、つばめの杜保育所と2つの幼稚園を利用していただくことで進めていきたい。

議員 今後の子どもの数の推計では減少傾向ではあるが、子育て世代の定住促進事業において、県内トップクラスの支援策をとっているのだから、「交流人口100万人」のように、子ども数の目標値を高く設定し考えるべきではないか。

町長 基本的には大きな視点では、そうだと思う。しかし、個々の場面を考えた時、現実を見据え将来の方向性を見定める一つ一つの積み重ねも大事である。

議員 保育所は、コミュニティを再生し、定住促進を図り地域を守るためには必要な施設と考える。今後、補正で対応する大きな事業を計画してい

るようであるが、お金（維持管理費）をかけるもやるべきことは何

か。また、優先順位の見極めが必要である。



はしもと 橋元 議員
しんいち 伸一 議員

1 被災者支援の活用状況について
2 今後の残金の使用目的と用途について
その他の質問

パークゴルフ場の整備内容は

町長 36ホール規模のものを考えている



えんどう たつゆき 議員
遠藤 龍之

議員 パークゴルフ場の整備について、調査の検討結果の説明を受けるたびに疑問、懸念が広がっている。最終の事業可能性調査の結果を町としてどう評価を考えているのか、町の考えを。

町長 公認がとれる一定の利用集客が見込める36ホール規模のものを考えている。

議員 収支見通しについての根拠は明確か。

教育長 関係団体の聞き取り、近隣の営業実態を調査し、整理したものである。

議員 回数券は一人で110回利用する人が150人

という理解でよいか。

課長 150人が10セットを購入してプレイする場合、1週間にほぼ2回通うことを想定し計算した。

議員 この試算について、町長はどう思うか。

町長 例えば、町内のグラウンドゴルフ愛好者の皆さんは週3回やっているとのことだが、身近にあればその利用頻度は一定のものがあると考えている。

議員 150人の町内外の利用者の内訳は。

課長 地元の方を中心に購入される方を150人と見積もっている。

議員 地元愛好者の方々は120人位といわれる中で、あり得ない数字である。次に、借地による対応としているが、借地に公共施設を建てることは可能か。

課長 先行事例もあり、借地権という取り扱いの中で整理できると認識している。

議員 法的根拠を示すべきである。次に町長はこの大事業を補正で対応しようとしているが、補正での対応をどう理解しているか。

町長 緊急性、必要に応じて補正予算を編成すると認識している。

議員 パークゴルフ場の整備は、補正予算の対象と認識しているのか。

町長 そのような認識もあると考えている。

議員 事業可能性調査の際、最終調査結果には、実施に至らない多くの疑問が確認された。これらの疑問が解消されないままでの大事業提案は認めることができない。

東部農地整備事業の取り組み現状は

町長 一部農地に不具合あり改善に努める



議員 山元東部地区農地整備事業は最終年度を迎えているが、問題も生じている。取り組みの現状と事業の目的達成に向けての対応は。

町長 昨年度、全面的に営農が再開されているが、一部の農地で石レキ、津波堆積物の混入や排水不良が生じ、農地改善に努めている。昨年度に入り著しい生育不良が確認され、補完工事を進めているが、引き続き持続的な営農を展開できるよう、事業の完了に向け取り組んでいく。

町民が望む各種行政サービス

町長 利便性が向上するよう取り組む

議員 浜吉田駅まで直

接、町民バスやデマンドタクシーの乗り入れはできないか。

町長 隣接市町への乗り入れは、当該自治体の議会と地域公共交通協議の同意が必要になるので、現時点では困難であると考えてる。

議員 土・日・祝日の運行についての検討はしているのか。

町長 地域公共交通協議等において協議を行った結果、廃止になった経緯がある。現

状においても状況に大きな変化はない。

議員 町政報告会において「10連休でバスが動かず不自由であった。改善して欲しい。」との要望を担当課に申し入れたが、検討はしたのか。

課長 バスの通常乗車が小学生や高齢者の通院が主な利用目的だということから、10連休中は学校も病院も休みとのことで安易に決定した。今後長い休暇になる際は慎重に決定し

たいと考えている。

議員 地域公共交通網形成計画の中に問題点や要望等が掲載してある。難しいとのことだけではなく、少しでも改善し、町民の要望を実施すべきである。また、町の考えとして公共交通会議に提案する考えはないか。

町長 問題意識を持って、少しでも利用者の利便性が向上するよう取り組みたい。

議員 免許証返納者への対策だが、夫婦バス等のサービスはできないか。

課長 ご夫婦のことはこれまで検討していない。町長が回答したとおり、負担公平の原則の部分もあるので、理解願う。

議員 役場庁舎の利用

改善について、駐車場を利用しやすい場所に整備できないか。

町長 構内整備は整備の途上にあり、少しでも不便のないよう対応を進める。

議員 庁舎の各種表示について、玄関の表示を含め、もっと大きくわかりやすい場所や位置にすべきではないか。

町長 指摘のとおり、もう少しここが玄関だというような、サイン表示をしつかりする必要があると考えてる。

議員 コンパクトで使いやすい庁舎であると思うが、初めての人や高齢者にとってトイレの表示等がわかりにくい。今後は目線や視線、色彩、大きさを工夫して改善に取り組み、町民誰もが利用しやすい庁舎にすることを求める。



議員 貞悦 伊藤



利用しやすい町民バス運行を

町の仕事をチエツク

総務民生常任委員会 産建教育常任委員会

○空き家対策

組織変更に伴う業務分担、空き家等の利活用促進対策等について調査した。

意見

組織変更後、各課と情報を共有化し、相談し易いサービスに努めると共に、町が検討している
 ①空き家等の家財処分事業補助金の創設
 ②宮城県住宅建物取引協会との協定締結
 について早期実現を目指し、定住促進に取り組みたい。

○災害対策

大雨による被害、避難勧告等の発令状況等の説明を受けた後、被害状況を現地確認した。

意見

防災体制を整えておく必要がある。調査した河川や排水路は、土砂が堆積している箇所が多くみられ、浚渫などの修復が急がれるので、今後注視していく必要がある。

○保育所建設

新年度に向けた子育て支援について調査した。

意見

保育所は建設しないことが示されたが、「地域に見合った保育所が必要である」と全委員の意見が確認され、早急の実現を強く求める。



○台風等災害状況及び復旧計画

災害状況の現地及び復旧計画を調査した。

意見

関係機関との連絡調整、連携を図り迅速な対応を図られたい。

○パークゴルフ場建設

パークゴルフ場建設可能性調査（追加）の検討内容を調査した。

意見

・民有地を候補地として示されたが、用地（賃貸契約の賃借料、契約期間、内容など）、管理運営、維持管理費などに疑問がある。
 ・過疎地域自立促進計画との関連性、施設運営、維持管理費等、綿密な調査を実施し、次世代へ負の財産を残さないようにすべきである。

○農水産物直売所飲食施設の進捗状況

施設計画の検討・管理運営等の調査をした。

意見

・高校や大学と共同による地場産品をいかしたメニュー、商品開発を図りたい。
 ・出店事業者への賃貸料の低料金設定、障がい者雇用を考慮されたい。

○学力向上

学校教育充実事業の実施計画「みりのりのプロジェクト推進事業」の概要や年次計画を調査した。

意見

・学力だけではなく、運動能力なども含めた人間力向上に積極的に取り組むべきである。
 ・学力向上には、家庭学習が必要であり、家庭の理解、協力を得た体制整備を図るため町独自のプログラムを作成し取り組まれない。

令和2年 議会報告会

議会報告会を5月中旬に予定しておりましたが、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止させていただきます。

議員の会議等出欠状況

令和2年1月1日～3月31日

出席：○ 欠席：欠（病気等）・公（公務） 員外：—

月	日	曜日	開催会議名等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
				伊藤 貞悦	橋元 伸一	岩佐 秀一	大和 晴美	渡邊 千恵美	高橋 眞理子	竹内 和彦	遠藤 龍之	岩佐 孝子	阿部 均	菊地 康彦	高橋 建夫	岩佐 哲也
1	7	火	議会広報・広聴常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	○	—	—	○	—
	14	火	総務民生常任委員会	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	—
	16	木	議会広報・広聴常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	○	—	—	欠	—
	17	金	産建教育常任委員会	○	—	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—
	22	水	第1回議会臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			議会全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	24	金	議会広報・広聴常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	○	—	—	○	—
	28	火	県町村議会議長会 議員講座	—	○	—	—	○	○	○	—	○	—	○	—	—
	29	水	県町村議会議長会 新人議員講座	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—
	30	木	総務民生常任委員会	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	—
2	4	火	県議会大震災復興調査特別委員会 県内調査	—	○	○	—	—	—	—	—	公	—	○	○	○
			議会運営委員会	○	○	—	—	—	—	○	○	—	—	○	○	○
	5	水	仙南・巨理地方町議会議長会 合同研修会	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
	6	木	産建教育常任委員会	○	—	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—
			県議会議員懇談会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○
	7	金	議会全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			巨理地方町議会議長会 研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	10	月	総務民生常任委員会	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	—
	12	水	議会全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	13	木	産建教育常任委員会	○	—	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—
	14	金	県町村議会議長会 議長会議	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
	18	火	議会全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	25	火	議会全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	26	水	議会運営協議会	○	○	—	—	—	—	○	○	—	—	○	○	○
			第1回議会定例会 (2/28・3/3・4・6・18)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	28	金	議会広報・広聴常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	○	—	—	○	—
3	2	月	議会全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			産建教育常任委員会	○	—	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—
			予算審査特別委員会 (3/6・9・10・12・13・16)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	4	水	議会運営委員会	○	○	—	—	—	—	○	○	—	—	○	○	○
	17	火	総務民生常任委員会	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	—
			産建教育常任委員会	○	—	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—
	25	水	議会運営委員会	○	○	—	—	—	—	○	○	—	—	○	○	欠
	30	月	議会広報・広聴常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	○	—	—	○	—

議長交際費

区分	1月		2月		3月	
	金額(円)	内容	金額(円)	内容	金額(円)	内容
会費	5,000	あぶくま青年会議所賀詞交歓会	34,000	県議会議員との行政懇談会 ほか4件	0	—
慶弔	0	—	0	—	0	—
その他	0	—	0	—	20,000	東日本大震災追悼式生花代
合計	5,000		34,000		20,000	

すぎです
やまもと



期待される 防災士

震災当時の未就学児は中・高校生に、小学校高学年は大学生に、中学生は社会人となりました。震災直後から避難所での炊き出しや水汲み等の活動をしてきた彼らは、その頃から災害への備えや避難の大切さを感じていたそうです。自分たちが体験したことを語り継ぎ、災害時に役立てたいという思いから防災士資格取得にチャレンジしました。「避難の大切さ」「自助・共助・協働」という視点で、自分が次代のリーダーとして体験や教訓を伝えていきたい。また、震災からご支援を頂いた皆さまへの感謝の気持ちを忘れず防災士として恩返し、恩送りをしていきたいと力強く語っています。

◇◇◇ お知らせ ◇◇◇

令和2年

第2回山元町議会定例会(予定)

会期：6月5日(金)～12日(金)

開会：午前10時

本会議：6月5日・9日・10日・12日

(一般質問は、6月9日・10日です。)

町ホームページをご覧ください

山元町議会で **検索**

- 議会中継(録画配信)
- 会議録
- 議決結果
- 議員、委員会等名簿
- 会期日程
- 議会だより
- 決議

以上の内容を掲載しています。

編集デスク

日本を含めた世界各地に於いて新型コロナウイルスの感染や蔓延が心配され、学校の休校をはじめ各種行事や集会等が自粛される中、感染対策を慎重に図ったうえで、令和2年第1回定例会が開会されました。

予算審査特別委員会において新年度一般会計予算等の審議がされ、特に留意する意見(P4掲載)を3項目附帯し、少数意見の留保がありました。認定しました。

東日本大震災から9年が経過し復興・創生の最終段階をむかえますが、まだ解決しなければならぬことがたくさんあります。今後とも温かいご支援ご協力をお願いします。

(委員 伊藤 貞悦)

〈議会広報・広聴常任委員会〉

- 委員長 岩佐 孝子
- 副委員長 高橋 真理子
- 委員 伊藤 貞悦
- 委員 岩佐 秀一
- 委員 大和 晴美